1

(1)	12	通り
(2)	10	通り

2

(1)	7	通り
(2)	9	通り

3

12	通り

4

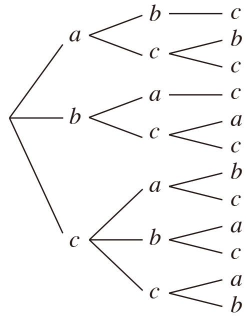
6	個

5

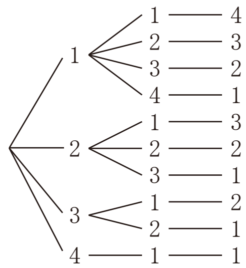
(1)	3	通り
(2)	7	通り

［解　説］

1 (1) 樹形図をかくと，以下の通りになるので，12通り



(2) 樹形図をかくと，以下の通りになるので，10通り



2 (1) 目の和が5と10になる場合を考える。
右の表から，和が5の場合は4通り，
10の場合は3通り。和の法則より，
4＋3＝7，7通り

和が5

大	1	2	3	4
小	4	3	2	1

和が10

大	4	5	6
小	6	5	4

(2) 目の和が2, 4, 8になる場合を考える。右の表から，和の法則より，
1＋3＋5＝9，9通り

和が2

大	1
小	1

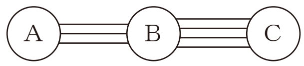
和が4

大	1	2	3
小	3	2	1

和が8

大	2	3	4	5	6
小	6	5	4	3	2

3 右の図より，A から C へ行く経路は，
積の法則より，
3×4＝12，12通り



4 展開すると，$1\times(1-c)+a\times(1-c)+b\times(1-c)$ となるから，
積の法則より，項の数は，
3×2＝6，6個

5 (1) A から B を通って D へ行く経路は，
積の法則より，
3×1＝3，3通り

(2) A から C を通って D へ行く経路は，
積の法則より，
2×2＝4，4通り
(1) より，A から D へ行くすべての経路は，
和の法則より，
3＋4＝7，7通り